

本日の主な論点

1 第1章・第2章の構成の変更について

- 緑の歴史的経緯（地形⇒江戸城惣構⇒震災・戦災復興⇒高度成長⇒都市再生）
- 千代田区の緑の俯瞰的位置付け
- 千代田区の緑の位置付け
地域特性に対応したエリア区分⇒グランドレベルの目に見える緑

2 基本理念について

3 将来像実現に向けた施策の展開（第6章）について

それぞれの施策の柱について、不足している視点・論点等

- (1) 歴史をつなぐ
 - 保全だけではない活用の視点など
- (2) 空間をつなぐ
 - 緑のネットワークとサイン、道路空間の活用の視点など
- (3) 安心をつなぐ
 - 災害時の緩衝空間としての視点など
 - 新型コロナウイルス対策の視点など
- (4) 人とまちの縁をつなぐ
 - オープンスペース・公園の創出・設えの視点
 - ◇ イベント、祭礼、健康増進、こどもの遊び場、高齢者の交流、ワークプレイス、デジタル化、新型コロナウイルス対応
 - オープンスペースの活用の視点
 - ◇ エリアマネジメント活動支援の視点
- (5) 未来につなぐ
 - モニタリングの視点など
 - ◇ 生物多様性に関するモニタリング、モニタリングへの子どもたちの参画
 - 人々の地域に対する誇りの醸成に資する象徴的な樹木、緑の創出、維持管理について
- (6) 緑とのつながりを創造する ～人と緑のつながりをデザインしていくか～
 - 緑の維持管理活用手法の多様化と参画促進、都市型屋上菜園等参画手法の多様化など

4 地域別の緑の方針（第7章）について

- 地域特性の記述は適当か
- 既存の開発のうち緑の質や量の観点で重要なもの、また、都市計画決定段階ではあるが重要な緑の拠点として期待できるものについて地域図に位置付けるか。
- 区域マスタープラン等に位置付けられている KK 線の位置付けなど

5 計画のマネジメントの方針（第8章）について